

■よかばんも～柳川 2021.09.

パリ大会へ始動！

女子卓球ナショナルチーム 元ヘッドコーチ 渡辺武弘さんインタビュー

——今回の東京 2020 大会を終えての感想を聞かせてください。

渡辺：1年延期され、直前まで開催されるのか不透明な中に最終的には無観客で開催されることになり、当初は試合をする選手たちが可哀想だと思いました。

通常の開催であれば、地の利で多くの観客に声援を送ってもらいながらプレーできるはずでした。しかし、実際には、余計なプレッシャーや周りの雑音も入ることなく存分に力を発揮できたことで結果的にはメダルを獲得でき、大変満足した結果に終わり、私自身も選手の頑張りに感動しました。

——ヘッドコーチは、どんなことをするのですか。

渡辺：一般的には、バレーボールやバスケットボールのように、コートサイドで作戦や気合を入れるために檄を飛ばすような監督やコーチ像がありますが、現在の卓球女子はかなり違ってきます。

卓球のトップ選手はプロなので、自分やスポンサーが技術コーチ、トレーニングコーチを雇っています。監督を含め私たち卓球協会のスタッフの役割は、技術指導はわずかで、マネジメントがメインとなっています。

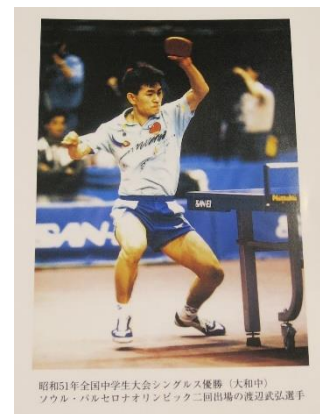
今回の東京 2020 大会は、通常トレーニングしているナショナルトレーニングセンターを主に利用したため、選手が同センターと試合会場を安全に行き来することが私の大きな役割でした。時にはレンタカーでドライバーもしました。地の利を活かし、使い慣れている施設で練習、食事、宿泊ができたことでストレスなく活動できました。

——自分が出場した時と比べて、大会に対する印象は違いましたか。

渡辺：大会そのものは、以前と今も変わっていないと思います。

今は国際大会がたくさん行われているので、選手に五輪を特別視している感じはなく、国民が注目してくれる大会だから「試合が楽しみ」という発想でプレーしているように見えます。

自分が出場した頃は「最高峰の大会なんだから」と自分にプレッシャーをかけていたように思います。楽しむという感覚にはとてもなりません。



昭和51年全国中学生大会シングルス優勝（大和中）
フルール・バルセロナオリンピック二回出場の渡辺武弘選手

——故郷の柳川はどんな存在ですか。

渡辺：どれほど月日経っても、自分の中では故郷です。最近は帰省できていませんが、子どもの時に比べると、道が整備され、お店も増え、景色が様変わりしているところも随所にあります。しかし、一歩足を踏み入るとホッとして柳川弁が自然と出てきます。

家族はもとより、大変お世話になった恩師の森雄三郎先生はお亡くなりになっていますが、ご健在の奥様や大和中学校時代の卓球部の先輩、同期、後輩に会えるのも楽しみの一つです。

——故郷で今も若い子たちをサポートしている仲間に対して思うこと。

渡辺：長きに渡る献身的なサポートは、相当な労力が必要ですが、九州地区の卓球界に大きく貢献していると思います。若い子たちは良い刺激を受けていると思います。卓球界や若い子たちの成長に貢献されている仲間には頭が下がります。



柳川に帰郷した渡辺さん（左）

——今後の抱負を聞かせてください。

渡辺：今回、全日本女子監督を拝命しました。私の役割は、3年後のパリ大会で金メダルを獲得することです。それと同時に卓球選手の頑張る姿を見ていただき、卓球愛好者そして国民の皆さんに喜んでいただき、幸せを感じてもらえるようなチームジャパンを築いていきたいと思っています。ご声援よろしくお願ひいたします。

仲間からのエール

渡辺武弘くん、このたびの全日本卓球女子監督を引き受けられたことに心より敬意を表します。大和中学校時代の1年先輩で卓球部に所属していたというだけの繋がりしかありませんが、厚かましく先輩面して、ひと言エールを送ります。

武弘くんとは、中学時代に恩師・森雄三郎先生との出会いから、卓球を通じて今日まで足かけ48年、親しくさせていただいています。中学から社会人までの目覚ましい実績、また2度の五輪出場、全日本選手権優勝、全日本卓球女子コーチ歴任等、多くの輝かしい活躍は、まぎれもなく郷土柳川、大和町の誇りです。それに加えて私は、多くの人が思っているであろう彼の人柄、人格、人物に最も惹かれた一人であることも間違いありません。

代表監督として技術指導が重要であることは自明のことですが、日本代表選手ともなると、個性豊かで、若いながらも経験豊富な選手が中心のチームをまとめることは、いかに難しく大変なことかと思えます。しかしながら、武弘くんなら、これまでの経験と人柄によって必ず監督として役目を遂行してくれると確信しています。

私たちは引き続き、微力ではありますが、全力で応援をしていきます。
パリへ向かって邁進してください！ がんばるばい！！

大和中学校卓球部 OB・森杯中中学生卓球大会実行委員長
江崎 公德



恩師の名前を冠した卓球大会を開催する故郷の仲間と